

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 無痛分娩から緊急帝王切開となった母児の産後経過に関する後方視的研究
	研究の対象 2016年1月から2021年12月までに当院で無痛分娩された、または無痛分娩ではない分娩中に緊急帝王切開された20歳以上の患者さん
	研究の目的 無痛分娩を希望した患者さんの中には、無痛分娩から緊急帝王切開となった際に無痛分娩を選択したことを後悔する方もいらっしゃいます。今まで、無痛分娩の希望を持つ患者さんが希望通りに無痛分娩できたことが産後うつに対して保護的に作用したとの報告や産後の疼痛が産後うつと関連したとの報告はありますが、無痛分娩中に緊急帝王切開となった症例の産後うつが他の症例よりも多いかどうかを検討した報告はありません。当院は2005年から無痛分娩を行っております。無痛分娩から緊急帝王切開となった症例の母児の産後経過を、無痛分娩で分娩に至った症例や無痛分娩ではない分娩中に緊急帝王切開術となった症例と比較検討することで、無痛分娩から緊急帝王切開となった症例が産後に特別な注意が必要であるかどうかを知ることは、今後の当院での無痛分娩提供において重要であるだけでなく、他の施設に対しても有用な情報となりえます。
	研究の期間 研究機関の長による実施承認日から（西暦）2026年12月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報 年齢、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、家族歴、生活歴、服薬状況、妊娠週数、経産回数 身長、体重（妊娠前、入院時） 血圧、脈拍、体温 血液学的検査(白血球数、ヘモグロビン値、血小板数)、血液凝固検査など 分娩：無痛分娩の有無、麻酔時間、分娩時出血量、輸血量、ICU入室の有無、緊急帝王切開の適応、分娩中の最高体温、分娩時間、分娩様式、入院期間 緊急帝王切開：麻酔法、麻酔時間、術中出血量、輸血量 出生児の状態：アプガースコア、臍帯動脈血ガス分析結果、NICU入室の有無と期間 術後合併症：産科的合併症（弛緩出血、創部感染、イレウス）、麻酔合併症（嘔声、歯牙損傷、硬膜穿刺後頭痛）など 入院期間の延長につながる事象など</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 医療安全管理室 秋永智永子</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 医療安全管理室 秋永智永子</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたをご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学 部署名： 医療安全管理室 担当者： 秋永智永子 TEL： 053-435-2997 E-mail： cnaka@hama-med.ac.jp